

1. あいさつ

神奈川県立産業技術短期大学校

校長 工藤 伸弘



本校並びに職業能力開発推進協議会の年間の研究成果と事業報告をまとめた「アニュアルレポート 2025」の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

円安・物価高の継続、生産・投資コスト増や人手不足などに加え、特に最近では米国による関税措置など新たな課題も加わり、企業を取り巻く経営環境は依然厳しい状況にあります。GX や DX への動きや人口減少などの様々な課題へ対応しつつ、企業が生産性を向上させ成長していくことが重要であると認識しています。

これらの実現を担う「実践技術者」を育成する本校の役割は一層重要性が増していくと考えており、今年度もカリキュラムに反映した取り組みを進めて参ります。

本校の学生の就職活動に関しましては、例年どおり着実に内定を獲得しています。会員企業の皆様にはインターンシップの受け入れをはじめ、情報交流会、合同企業説明会などで多大な御協力を頂いており、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

一方、本校の大きな課題として、入学生の定員割れがあり、令和7年度の入学者は85名でした。入学者減少に歯止めをかけるため、高校に積極的に出向き、進路を決める前の高校1、2年生を対象に当校の特徴を直接説明したり、ハローワークが主催する高卒予定者向けの合同企業説明会に参加するなど当校のPRに努めています。また、オープンキャンパスはいつでも見学できるような仕組みにするなど改善しています。さらに、昨年に続き、校舎の改修工事、設備の更新によるホスピタリティの向上にも取り組んで参ります。これからも皆様のご意見を伺い、本校の事業内容のさらなる充実を図って参りますので、引き続き御指導・御支援をよろしくお願いいたします。

産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会

会長 野中 啓孝



本協議会会長を務めております成幸工業株式会社の野中です。本協議会は、短大校が推進する教育訓練への支援、会員企業の人材育成に関する支援、会員相互の情報共有を目的に活動しています。会員数は、令和7年7月末現在で369会員です。会の運営につきましては、多くの会員に支えていただいておりますこと感謝申し上げます。

さて、令和6年10月16日には、短大校見学会を実施し、会員からは93名の参加がありました。この見学会の後には、各学科の先生方と意見交換がもたれ有意義な時間をもちました。また、令和7年5月21日に通常総会が開催され、全ての次案が承認されました。令和7年度は新規事業として、事業成果発表会（仮称）、女子エンジニア交流会（仮称）等が企画されて、会員と短大校との連携強化が図られ、これまで以上によりよい産業人の育成に繋がるものと期待しております。

このアニュアルレポートは、短大校と推進協議会について、この令和6（2024）年度年間の活動状況をまとめております。推進協議会のご理解と会員相互について、深めていただけることを願っております。